

## Gard Insight

### 海に投棄されたプラスチックごみ - 誰もが気にしなければいけない理由

こちらは、英文記事「[Plastics in the Ocean – Why we should all be concerned](#)」（2017年5月19日付）の和訳です。

Gard Insight では、この5月を海洋ごみ（主にプラスチックごみ）の啓もう月間として、これに伴う問題を取り上げます。一回目となる本号でご紹介する記事と動画で、この問題のポイントをご紹介します。次号以降で、MARPOL によって課される船舶のプラスチック海洋投棄規制と革新的な回収ソリューションに関する記事をご紹介します予定で



プラスチックは約 60 年にわたり大量生産されてきました。自由に形を変えられ、耐久性があり、軽量のプラスチック製品は、私たちの暮らしを変えました。しかし、そうした特徴を有するがために、海に捨てられたプラスチックは風や潮流に乗って簡単に拡散され、何千年とはいわないまでも何百年も地球上の海洋環境に残り続けることになるのです。

「Gard our Oceans」プログラムの一環として、GRID-Arendal の海洋ごみ専門家であるジョーン・ファブレス氏に、プラスチック海洋汚染の原因と影響についてお話しいただきました。GRID-Arendal は、国連環境計画などのパートナーと協力して環境的に持続可能な開発を支援しています。GRID-Arendal の主な役割の一つは、科学に基づいた環境データをわかりやすい形で共有することです。ファブレス氏は、今回の講演の基礎となっている [Marine Litter Vital Graphics レポート](#) の編集と執筆を担当する一人です。海の中で増え続けるプラスチックが海洋環境にもたらす問題について、私たちと一緒に学んでください。ファブレス氏の主なコメントを短い動画にまとめました。

#### 私たちの恐るべき遺産 - 海のプラスチックごみ

<https://player.vimeo.com/video/217801903>

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。